

平成22年度「専修学校留学生総合支援プラン」成果報告書

事業名	留学生のためのキャリア教育と就職支援推進プログラム		
法人名	学校法人 明日香学園		
学校名	明日香美容文化専門学校		
代表者	理事長 田中 由視	担当者 連絡先	渡邊 光治 097-544-9113
1. 事業の目的・概要等			
<p>事業の概要</p> <p>①平成22年度の我が国における留学生総数は141,774人で、その内専門学校留学生は27,872人で全体の19.7%となっております。</p> <p>平成20年7月29日付けで文部科学省より「留学生30万人計画」が策定され、専門学校においても専門学校を取り巻く環境を考慮しながら留学生や送り出し国のニーズを踏まえ、より一層の受け入れの促進を図る必要があると思われまます。</p> <p>しかし、受け入れは増えても出口、いわゆる就職や専門学校在学中における就職活動支援及び就職指導については充分とは言えないのが実状です。</p> <p>②21世紀を迎えた日本社会の労働界は若年者の激減、少子高齢化に突入し、日本の現状を鑑みれば、あらゆる視点から考えて留学生及び外国人労働者の受け入れを避けては通れないのが実状です。これら専修学校留学生に対し、①でも記したが日本での就労に必要な知識・技術等の向上を目的とした学習機会を提供するとともに、生活支援、就職支援さらには地元（大分県）への定着を推進しました。</p> <p>さらに、本校併設の日本語科（留学生のみ）卒業生の専門学校進学者にアンケート及び聞き取り調査を実施して在学中の専門学校での生活支援、就職支援の実態を把握し、今後の留学生や卒業生への生活支援・就職指導に役立てその成果を全国に普及します。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>留学生の就職希望者は年々増加している。その要因の1つに日本企業のグローバル化がある。海外拠点の増加、事業の海外展開など大手企業にとどまらず、中小企業もグローバル化を図っている。その中で語学力、特に日本語能力が高く、日本を知っている留学生の活用を企業は進めている。日本での就職の夢をかなえるために、まず日本の企業及び就職事情を知り、効率のよい就職活動ができるカリキュラムを開発、実施しました。</p> <p>●開設講座数：座学13講座 実習3講座 インターンシップ</p> <p>●総授業時間数：94時間</p> <p>●開設期間：平成22年6月23日～平成23年2月28日</p> <p>（内訳） 座学 13講座60時間…内容等別紙1 実習 3講座26時間…内容等別紙1 インターンシップ 1人8時間</p>			

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

受講者募集については主に下記の方法を用いた。

- ・本校美容科2年生の留学生より募集
- ・本校国際コミュニケーション学科1年生の留学生より募集
2年生、1年生とも全員日本企業就職を強く希望し受講生となる。

③受講者の状況

（1）募集・応募者数・受講者の状況…定員10人 応募者11人

応募者数								
		受講者数						
		修了者数			証明書発行数			
		就職希望者						
			就職者	非就職者	帰国者	履修証明書	修了書	
11	11	11	2	0	2	1	9	2

（2）留学生受講者数・名簿

項目 No	氏名	性別	学年	出身国	国費 私費	科
1	アジカリ ビンドウ	女	2	ネパール	私費	美容
2	曾 悦如	女	2	台湾	私費	美容
3	ジャーナルダン	男	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション
4	マハルジャン ビニタ	女	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション
5	ビル プラサド	男	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション
6	カドカ サラワン	男	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション
7	タマン ルビナ	女	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション
8	ラムチャンドラ	男	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション
9	タマン アニル	男	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション
10	パリヤル ダンマル	男	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション
11	チャンドラマニ	男	1	ネパール	私費	国際コミュ ニケーション

（3）受講修了者 11人

④受講者・企業の意識調査等

(1) 受講者満足度は下記のとおりである。

項目 No	氏名	性別	学年	受講者 満足度	企業担当者 満足度	進路状況
1	アジカリ ビンドゥ	女	2	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	帰国(ネパール)
2	曾 悦如	女	2	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	渡米して米国の美容も勉強したい
3	ジャーナルダン	男	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級
4	マハルジャン ビニタ	女	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級
5	ビル プラサド	男	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級
6	カドカ サラワン	男	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級
7	タマン ルビナ	女	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級
8	ラムチャンドラ	男	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級
9	タマン アニル	男	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級
10	パリヤル ダンマル	男	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級
11	チャンドラマニ	男	1	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	本校2学年へ進級

・就職希望者数 2人 就職者数 0人

・1年生9人は全員日本での就職希望者でしかも大分での就職を希望しており、地方都市特に大分限定での就職は厳しいことを説明して、ジョブ・カード等を記入させ、就職支援・指導をしています。

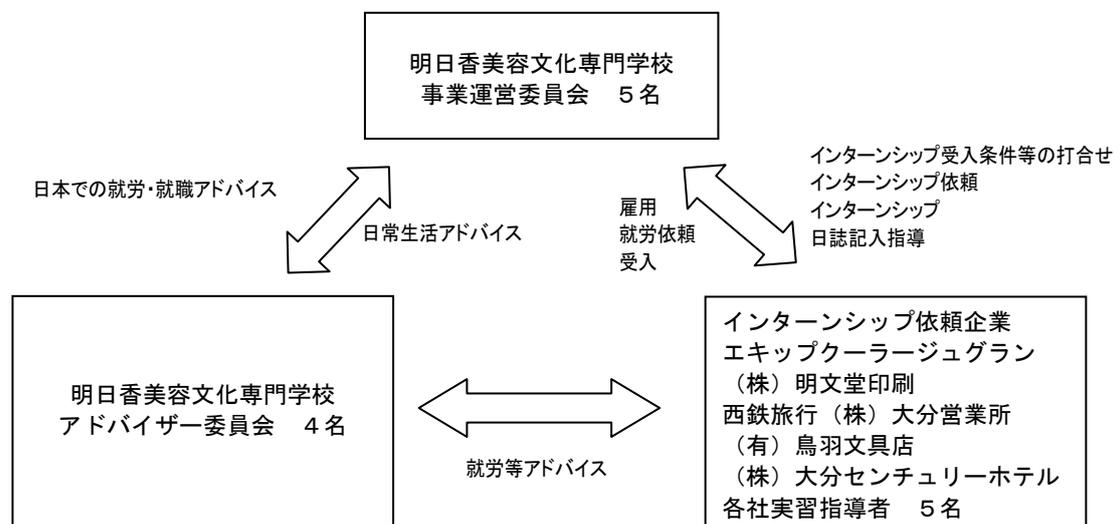
2年生1人は日本での美容技術を生かして、母国ネパールで美容サロンを開店するべく、家族と連絡を取って準備しています。今は3月6日の国家資格試験に向けて頑張っています。

2年生1人は日本での美容技術を生かしてさらに米国で美容技術の勉強をしたいと渡米準備をしています。

・進級数 9人

(2) 専修学校、地元産業界との連携体制

「留学生のためのキャリア教育と就職支援プログラム」



⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

(1) 募集・応募者数・受講者の状況…定員10人 応募者11人

応募者数		受講者数					証明書発行数		
		修了者数			就職希望者				
					就職者	非就職者	帰国者	履修証明書	修了書
11	11	11	2	0	2	1	9	2	

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

受講生募集計画にあたっては10名の予定であったが、大分県内の専門学校（大専各加盟校20校）に在籍する留学生は本校を除いて2名だけで、この2名は受講しないとのことで、本校のみで募集し、2年生2名、1年生9名で定員10名を1名オーバーして11名の募集がありましたので全員受講生として採用しました。

受講生の満足度は11名中A評価（大満足）10名、B評価（満足）1名でした。

インターンシップでは指導者からもA評価7名、B評価3名、C評価1名で、ともに当初設定値を達成したため「留学生のためのキャリア教育と就職支援推進プログラム」の目的は達成しました。

就職については2年生2名とも日本企業へ強く希望し、11月上旬には美容サロンへ就職内定しましたが、美容師として就労在留資格変更を申請手続きしましたが、昨年同様入国管理局の壁に阻まれ不許可となり、昨年の先輩3名より実情は聞いていたが、やはり自分のこととなると非常に残念がり、涙ながらに我々教員へ不合理を訴えられたが力及ばず詫言いました。2名とも在学中及び就職支援推進プログラムで学んだ知識と技術を生かして母国（ネパール）または米国でそれぞれ頑張りますと言って帰国準備をしている姿に接して、教員の無力を感じています。

大分県内の就職者0名で目的は達成できませんでした。

②事業の成果及び改善点

(1) 座学、実習、インターンシップ共に満足度は高く目的を達成しました。

特に、実習関連はいずれも好評でした。国際コミュニケーション学科1年生9名からはもっと実習の時間を増やしてほしいという希望が多かったです。

インターンシップについては1名だけが自分のイメージと違ってたと自己評価（満足度）Cとして、他はA評価9名、B評価1名で緊張の連続であったが、大変素晴らしい体験をさせていただきました。また、企業の指導者にも態度、能力、挨拶、研究心も盛満で大満足でしたと評価されました。

(2) 就職については職種により在留資格の許可がおりないことが残念でなりません。各関係機関へ働きかけて改善することを痛感しています。

③次年度以降における課題・展開

留学生の日本での就労についてのキャリア教育、特に美容、理容、ネイル・メイク、エステティック、調理・製菓等については必要を感じます。漢字の読み書きに特別指導が必要。改善点でも述べましたが、職種により在留資格の許可等についても引き続き各関係機関へ働きかけていく必要があるので企業等へもご協力をお願いすることが必要です。よって、次年度も今年度蓄積したノウハウを生かして講座を開設するとともに、留学生のキャリア教育と就職への支援をしていきます。

④成果の普及

平成22年度文部科学省「専修学校留学生総合支援プラン」事業名「留学生のためのキャリア教育と就職支援推進プログラム」として事業報告書を冊紙にまとめて、県内の企業及び各関係機関へ配布して留学生の就職に関してご理解とご支援をお願いします。なお、本事業のために開設したHPのURLは下記のとおりとなっています。
<http://asuka.ac.jp>